

台風19号を
乗り越えて——



3 星総合病院 被害状況

星総合病院被害状況（一覧）

法人管財部部長 椎名 亨

【星総合病院】

	被害状況	被害額
建物・設備	病棟、外来診療棟、サービス棟で15cm～20cmの床上浸水が発生 ・壁内部への浸水及び二重床部分への浸水が発生 ・エレベーター（14基）が浸水による故障発生 ・電気自動車急速充電装置浸水 3台 等	約10.4億円
医療機器等	(浸水による修理) ・一般X線撮影装置 2台 ・X線乳房撮影装置 2台 ・内視鏡洗浄機 5台 ・内視鏡処置台 6台 ・電動診察台 1台 ・薬局分包機 4台 等 (浸水により修理不能の為に替え) ・CT撮影装置 2台 ・MRI撮影装置 1台 ・X線透視撮影装置 2台 ・骨密度測定装置 1台 ・運動負荷心電図測定装置 1台 等 ＊一部リース品含む	約3.3億円
備品その他	・一部医薬品の水没 ・パソコン 8台水没 ・その他OA機器、ネットワーク機器等の水没 ・車両7台水没（内5台廃車） ・冷蔵庫15台水没 等	約0.4億円
合計被害額		約14.1億円

【ほしのご保育園】

	被害状況	被害額
建物・設備	1階建屋全体に10cm～20cmの床上浸水が発生 ・壁内部への浸水、二重床部分、床下暖房設備部分への浸水 ・園庭への汚水の流入	約1.0億円
備品その他	・ロッカー等什器、図書、玩具、遊具、家電、パソコン等の水没	

【ポラリス保健看護学院】

	被害状況	被害額
建物・設備	1階建屋全体に15cm～30cmの床上浸水が発生 ・壁内への浸水、図書室の二重床部分への浸水 ・講堂内部への浸水（客席、ステージ下部への浸水） ・エレベーター1基への浸水による故障発生 ・製氷機、食器洗浄機等の水没	約2.8億円
備品その他	・図書約4千冊水没 ・パソコン4台水没	

星総合病院、ほしのご保育園、ポラリス保健看護学院	合計被害額	約17.9億円
--------------------------	-------	---------

【被害状況の分析】

今回の水害では、いくつかの特徴的な被害状況が見られました。

① 各出入り口からの水の侵入

外部水位は50cm～80cm程度であり、主に各出入り口から水が浸入し内部で概ね10cm～20cm程度の水位となりました。外部に面した機械室など、外開き扉でパッキンなどにより構造的に気密性の高いものは浸水被害が少なくすみしました。

⇒必要な対策

1. 擁壁の敷設による敷地全体の流入防止
2. 出入り口への止水板の設置
3. 扉やサッシなど既存建具の気密性（水密ドア）の向上

② 下水管からの逆流

トイレ便器からの逆流により建屋内部へ汚水が流入、水囊で塞ぐなど対応していたが効果は限定的でした。

⇒必要な対策

1. 下水管の逆流防止（逆流防止弁の設置）
2. 水害対応訓練の実施



③ 壁内部と二重床部分への浸水

壁の内部、一部のドアなど建具内部への浸水が発生しました。また、O Aフロアなどの二重床部分へ浸水が発生し、電気設備配線、LAN、電話などの情報通信系配線、放射線科を中心とする医療機器の配線等が水没しました。排水後も木床部分の変形（波打ち）や臭気の発生など被害が見られました。

⇒必要な対策

1. 建屋内部への浸水防止
2. 浸水時の流入水排出



④ 浸水によるエレベーターの停止

エレベーターピットへの浸水により14基すべてが使用不能となりました。12基については、制御基板が構造上最上部にあるため排水後早期に復旧することが出来ましたが、残り2基については、制御基板が下部ピットにあったため復旧に日数を要しました。

⇒必要な対策

1. 水害予測時の運行方法の検討
2. 制御基盤の上部への移設



⑤ 車両の水没

浸水为了避免するため事前に管理車両を立体駐車場へ移動をしましたが、送迎バスや救急車など一部立体駐車場に入らない車両と立体駐車場1階へ駐車した車両が水没しました。

⇒必要な対応

1. 周辺の避難駐車場の確保
2. 水害予想時の車両避難計画の立案

